

『関西大学芸術学美術史研究学会 e ジャーナル』執筆細目

2015 年 7 月制定

2021 年 9 月改訂

1 原稿の形成

(1) 原稿の構成

横書；表題、著者名、英文タイトル、英文要旨、本文、著者名ふりがな、著者の所属・資格、キーワード 4～5 語(日本語および英語)

(2) 文字

現代仮名づかいにより、原則として常用漢字の範囲で書く。ただし、引用部分等で必要ある場合はこの限りでない。

2 著者名

(1) 英文表記は、名前・姓名の順に頭のみ大文字とする。(例：SENRI Hanako)

(2) 連名の場合は、和文は中点（・）、欧文はコンマ（,）と接続詞で結ぶ。

(例) 関大太郎・千里花子・山田次郎 KANDAII Taro, SENRI Hanako and YAMADA Jiro

3 著者の所属

著者は、本文末尾に、所属、学部、資格を記載する。

4 本文の構成

(1) 論文は原則として本文・註を含め 20,000 字以内、挿図は 20 枚以内を基準とする。

(2) 研究動向、新資料紹介、書評などは原則として 8,000 字以内、挿図は 5 点以内を基準とする。

5 不適切用語

固有名詞、地名等学術的に言い換えのできない語句を除いて、人権にかかわる不適切用語の使用は避ける。

6 年号表記

論稿中の和暦年号表記には、「享保 5（1720）年」のように西暦を併記する。

7 図・表

写真・図版等を挿入する場合は、必ず電子ファイルを用い、挿入箇所、大きさ、トリミング等を原稿に指定しておく。

8 文献の引用

本文中に引用文を挿入する場合はカッコ内に収めるが、長文にわたる場合は、2 字下げ（欧文の場合は、4 字下げ 8 ポイント）としカッコは用いない。

9 註

註番号は、1) 2) 3)・・・で当該箇所の右肩に示し、脚注とする。

10 活字体などの指定

原稿の提出時は原則的に 10.5 ポイント MS 明朝体とする。A4 ベース標準で、1 行 40 字、1 ページ 36 行とする。

11 校正

- (1) 校正の受渡しについては、筆者が初校 PDF を受け取ってから原則として 15 日以内、再校は 5 日以内に校正を終えるものとする。
- (2) 校正済 PDF 受渡しに際しては、校正のみを添付送付のこと。

12 その他

その他必要な事項は、編集委員会に諮り定める。

以上